

そなえあれば  
うれいなし

# 西淀防災Times

Vol. 4 令和3年10月13日発行

火災！  
地震！

こんな時どうする？！



去る6/25に実施した「火災避難訓練」では、児童生徒の逃げ方や経路について疑問や課題が出ました。来月11/1には、地震・津波を想定した避難訓練を行います。今回の西淀防災Times vol.4では、火災発生時の逃げ方と、地震発生時の逃げ方を比べてどう逃げるのが最善の道なのかを、考えて頂きたいと思います。

## 火災発生時

まずは、「逃げる」を優先しよう！

☆座位保持椅子やパンダに座っている場合は、そのまま逃げるのもあり！

但し、裏庭を通ったりグラウンドの砂等進みにくい場合が予想されます。

☆火災発生時は、煙と炎から逃げなくてはなりません。ハンカチやタオルで口元を押さえて姿勢をできるだけ低くして逃げましょう。

## 地震発生時

頭部を守りながら揺れが収まるまで、待つ。揺れが収まり、一次避難指示が出たら車いすや、バギー等へ乗り換えよう！

☆二次避難に進む場合があることを、念頭に行動しよう。

☆一次避難とは、体育館やグラウンド等校内の安全な場所に避難すること。

☆二次避難とは一次避難場所から、より安全な場所に避難すること。

このように、避難するにしても災害の種類や大きさが違えば、逃げ方も違ってくることを念頭にどうすれば、児童生徒が安全に避難できるのかを日頃から想像することが大切です。担当の子どもの避難方法を考え、それを学年団で共有してください。

また、大規模地震が発生した場合、学校付近の道が液状化する恐れがあります。液状化して、車いすやバギーが押せない状況になった時、児童生徒をどのように二次避難先まで搬送するのか…。津波が到達するまで、想定では地震発生から約40分程度と言われています。たった40分しかありません。40分間で何ができるのかを考えて、行動できるように備えたいですね。

次回の『防災Times』は、11/1の地震・津波想定避難訓練に向けての内容になります。